

## 教材6「自分たちの理想を実現する政党づくり」

架空の政党づくりの活動を通じて、与えられた選択肢の中から選ぶのではなく、理想にあった選択肢を自ら作るという積極的な有権者の育成を目指す。各党から候補者を立て、模擬選挙も行う。

### 1 教材のねらい

本教材は、政治は自分以外の誰か偉い人がやってくれるものという意識から、自分たちが政治の主役であるという意識への転換を目指しています。期待できる候補者がいないとか、誰がなっても政治は変わらないといった有権者の不満は、選挙のたびによく耳にします。その気持ちは理解できないわけではないですが、このような意見の背後には、政治を実際に行うのは誰か他の人で、自分の理想にあった誰かが出てくるのを待つという受け身の姿勢が感じられます。本教材では、与えられた選択肢の中から自分の理想にあった人を選ぶのではなく、理想にあった選択肢を自ら作るという積極的な有権者の育成を目指しています。そのために行う活動が政党づくりです。いくつかの問題について同じ考え方を持つ者同士が集まって、自分たちの理想を政治に反映させるという政党づくりの活動を通して、自分たちが政治に対してどのような考えを持っているかを見直していきます。また、政党づくりの活動を通して、他者と意見を調整し合意を形成することの大切さを再確認することもねらいの一つです。そのために、参加者をいくつかの政治課題について比較的近い考え方を持つ者同士のグループに分け、それらのグループを民間団体と政党に分け、それぞれが活動方針や綱領を作る活動を行います。最終的には、架空の選挙を想定し模擬投票を行い、自分たちの理想を政治に反映させることを目指していきます。

## 2 学習の進め方

### (1)全体の流れと所要時間

- ・政治課題に対するアンケート調査(5分)
  - ・アンケート調査に基づくグループ分け(5分)
  - ・アイスブレイク(5分)
  - ・政党名を考えよう、団体名及び団体の性格を決定しよう(10分)
  - ・政党の綱領を作ろう、団体の行動方針を決めよう(20分)
  - ・選挙の候補者を立てよう、候補者に対する政治的要求を考えよう(30分)
  - ・公開シンポジウムの開催(60分)
  - ・模擬投票(10分)
  - ・開票(5分)
  - ・当選者の決意表明と落選者の敗因分析(10分)
  - ・ふり返り(5分)
- 計3時間程度

### (2)準備するもの

#### ①資料

アンケート調査で尋ねる質問項目に関する新聞記事や雑誌の記事。

例えば、アンケートで山林や海岸の開発問題と、大型商業施設の誘致について取り上げた場合、特定の地域の開発について取り上げた新聞の特集記事、それについての社説、大型商業施設の誘致の経済的・社会的影響について論じた記事、大型商業施設進出に対する様々な立場の人の意見に関する記事が考えられる。

#### ②ワークシート、文具等

- ・ワークシート16「あなたは賛成？反対？」政治課題に対するアンケート調査  
→78頁
- ・ワークシート17「選挙公約チェックシート」公開シンポジウムの際のメモ  
→79頁
- ・ワークシート18「ふり返りシート」 →80頁
- ・模造紙(各グループに一枚)、サインペン

### (3)役割

- ・ファシリテーター
- ・政党づくり担当グループ
- ・民間団体担当グループ
- ・開票作業支援担当者

## 3 学習の手順

### (1)政治課題に対するアンケート調査

ワークシート16を配布し、政治課題に対する考え方を尋ねます。課題はプログラムを実施する地域の状況に応じて変更しても構いません。例えば、以下のような課題が考えられます。

- ア 地域活性化のための公共事業費の増額
- イ 原子力発電所の稼働停止
- ウ 工場誘致のための山林や海岸の開発
- エ 大型商業施設(ショッピングモール)の誘致
- オ 子どもの医療費補助の枠の拡大
- カ 高齢者のための福祉施設の建設

これらの課題の中から二つ程度を選択して、アンケートを作成します。地域の実態を反映した課題にすれば切実性が増すので話し合いが盛り上がる可能性があります。一方で、参加者が本音を言い出しにくくなるという問題も起きるので注意が必要です。

### (2)アンケート調査に基づくグループ分け

ファシリテーターは、アンケートの回答を参考にして、政治課題に対して同じような考えを持った人同士が集まったグループを作っていきます。このような手続きをふむのは、政党は主義や主張がある程度一致する人同士の集まりであるからです。ファシリテーターは、グループを分ける際の基準を参加者に説明して、

それぞれのグループがどのような考えを持った人の集まりであるかをはっきりさせましょう。

1つのグループの人数は4名程度がよいと思います。参加者の数やグループの数にもよりますが、出来上がったグループを、政党をつくり選挙で候補者を立てるグループと、政党に対して様々な要求をする民間団体のグループに分けます。政党のグループは、選挙において候補者が3名以上立つ方がよいので3つ以上が望ましいでしょう。民間団体としては、以下のようなものが考えられます。

- ・ 経営者団体
- ・ 労働組合
- ・ 環境保護団体
- ・ 消費者団体
- ・ 平和団体

これらの民間団体は、アンケートで尋ねる政治課題に合わせて設定すればよいでしょう。例えば、地域活性化の公共事業費の増額や大型商業施設(ショッピングモール)の誘致についてアンケートで尋ねるならば、経営者団体や消費者団体を民間団体として設定すればよいでしょう。あるいは、工場誘致のための山林や海岸の開発について尋ねたとしたら、環境保護団体なども加えるとよいと思います。

### **(3)アイスブレイク**

グループに分かれたら、自己紹介をしてお互いに理解を深め、スムーズに話し合いができる雰囲気を作ることが大切です。アイスブレイクとして、例えば以下のような方法が考えられます。

- ・ 自己紹介
- ・ 自分の出身地のよいところを皆に紹介しよう。

以下の活動は、A 政党グループとB 民間団体グループで異なります。

## ↓ A 政党グループの活動

### (4) 政党名を考えよう

ファシリテーターは、それぞれのグループで、政党の名前を考えるように指示します。グループは、アンケートの結果に基づいて同じような考えを持っている人で構成されていますので、自分たちの考えを反映し、かつユニークな名前を考えるように促しましょう。

### (5) 政党の綱領を作ろう

政党名が決まったら、次にそれぞれの政党の行動方針とでもいべき綱領を作るように指示しましょう。政党の目的は最終的には政権をとり、自分たちの考えを実現していくことです。その点を意識して綱領を作ることが大切です。綱領の形式は自由ですが、短い文章で箇条書きにした方が分かり易く、人にも伝わり易いでしょう。

### (6) 選挙の候補者を立てよう

国会議員、地方自治体の首長または議会の議員の選挙に政党から候補者を出すことを想定して、各グループに候補者を決めるように指示しましょう。候補者は誰でも構いませんが、後で演説をしなければなりません。また、候補者の名前も考えるように指示して下さい。後で模擬投票をすることを考えて、難しくない名前にした方がよいでしょう。候補者が決まったら公約と演説の内容を考えるように指示して下さい。

その際に、資料として、最初にアンケートで尋ねた政治課題に関する新聞や雑誌の記事を配布します。記事の内容は偏ることなく、それぞれの政治課題について賛成、反対のそれぞれの立場から書かれている記事を用意できることが望ましいと思います。

## ↓ B 民間団体グループの活動

### (4) 団体名及び団体の性格を決定しよう

経営者団体や労働組合など団体名が決まっているグループに対しては、その団体がどのような構成員からなり、どういう性格のものかを定めるように指示して下さい。経営者団体であればどのような産業の企業経営者によって構成されているかといったことを決めればよいでしょう。また、NPOやNGOなどを割り当てられたグループに対しては、団体名と団体の性格を定めるように指示しましょう。

### (5) 団体の行動方針を決めよう

団体名や団体の性格が決まったら、その団体がどのような方針に基づいて何に取り組んでいるかを定めるように指示しましょう。特に、アンケートで調査をした政治課題や、地域の特性を考えて行動方針を決定すればよいでしょう。

### (6) 候補者に対する政治的要求を考えよう

民間団体グループ自体は、候補者を立てませんが、選挙の勝利の行方を左右する貴重な票を持っています。自分たちの考えた行動方針に基づいて、候補者に要求する事柄を考えましょう。そのうえで、後のシンポジウムでそれらの要求を公表し候補者に圧力をかけます。

以下の活動は、再び全体で行います。

### (7) 公開シンポジウムの開催

ファシリテーターは、候補者がそれぞれの選挙公約を述べ、民間団体が政治的要求を提示する公開シンポジウムの司会を務めます。公開シンポジウムの内容は以下の通りです。

- ① 候補者の立会演説
- ② 民間団体からの要求
- ③ 質疑応答

候補者と民間団体がそれぞれの主張を一通り述べた後、質疑応答を行います。政党グループは他の政党の候補者に対して政策の内容を問いただしてもよいですし、民間団体グループは、自分たちの要求の中で候補者の政策で触れられていないものがあれば、それに対する考えを問うてもよいでしょう。ここでは、主張している政策は効果的なものか、実現可能か、皆の幸せのためになるものかといった点を吟味していくことが大切です。ワークシート17を使います。

## **(8) 模擬投票**

公開シンポジウムが終わったら、投票を行います。各自一票を投じ、もっとも獲得票数が多い候補者を当選とします。投票は、投票箱を用意するなどして、可能な限り形式を整えて行うようにしましょう。参加者全員が、真剣に投票することが何よりも大切です。秘密投票の原則に基づいて、誰が誰に投票したか分からないようにすることも重要です。したがって、政党の構成員であっても必ずしも自分のグループの候補者に投票する義務はありませんし、民間団体のグループの人は誰に投票するのも自由です。

## **(9) 開票**

投票が終了したら、即、開票を行います。ファシリテーターを中心に何名かで協力をして速やかに開票を行います。同点の場合は、その候補者に絞って再度投票を行ってもよいでしょう。

## **(10) 当選者の決意表明と落選者の敗因分析**

当選者が確定したら、当選した候補者に抱負を述べてもらいましょう。また、落選した候補者には選挙をふり返って敗因を説明してもらいましょう。民間団体の代表の方に、当選者に期待することを述べてもらってもよいと思います。

## **(11) ふり返り**

全ての活動が終わったら、ワークシート18を使って、今日の活動をふり返ってもらいましょう。時間があれば、感想を語ってもらっても構いません。

## ワークシート16「あなたは賛成？反対？」

政治課題に対するアンケート調査(山林の開発問題と大型商業施設の誘致を例に)

政治的課題	賛否 (賛成なら○、反対なら×)
○A市は、郊外の山林を開発して大型の廃棄物処理場を建設しようとしています。それについてあなたの考えは？	
○あなたは、A市に大型商業施設が必要だと思いますか。	

名前( )



## ワークシート17

### 「選挙公約チェックシート」(公開シンポジウムの際のメモ)

◎公開シンポジウムで各候補者の選挙公約を聞きながら、それぞれの候補者の公約を評価しましょう。その際に下記の点に留意しましょう。

- ア 有効性(その公約は、効果があるか)
- イ 可能性(その公約は、実現し得るか)
- ウ 公共性(その公約は、皆のためになるものか)

・候補者A

ア

イ

ウ

・候補者B

ア

イ

ウ

・候補者C

ア

イ

ウ

## ワークシート18「ふり返りシート」

◎本日の活動をふり返ってみましょう。

1 本日の活動を通して、自分たちの願いを実現するためには、何が必要であると思いましたが。

2 本日の活動の感想を自由に書いて下さい。

名前( )